

《第1回 ICDアワード受賞者活動報告》

第1回 ICDアワード



日本大学歯学部 第70期卒

黒澤 佑介

この度は第1回 ICDアワードを授与していただき誠にありがとうございます。この場を借りて深く御礼申し上げます。日本大学歯学部卒の黒澤佑介と申します。

私は日本大学歯学部生化学講座で津田准教授のご指導の下、「歯周病原細菌代謝物酪酸が三次元歯肉培養系に及ぼす影響」"Effects of butyrate-treatment on three-dimensional gingival tissue cultures"というテーマで第4学年から第5学年在学中に研究を行うと共に、令和2年度日本歯科医師会スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 日本代表選抜大会に大学代表として出場致しました。この研究ではヒト線維芽細胞を用いて二次元での細胞培養と比較してより生体内での状態に近い三次元培養系を作製して実験を進めていきました。生きている細胞を用いた研究は今まで経験が無く、安定した三次元培養系を確立するには時間を要しました。最初は実験に關す

る基礎知識がなく、器具・機器の取り扱いも慣れない中で一つ一つ丁寧に時間をかけてご教授頂いた先生方に感謝の意を表します。

SCRIP日本代表選抜大会では上位入賞とはなりませんでした。ポスターディスカッションにおいて何に重点を置いて伝えたいのか、どのようにすれば上手く伝えることが可能になるかを考える良いきっかけとなりました。

私が学生としてこのような研究活動に携わることができたことは、学生生活を終え今後臨床の現場に関わっていく上で大きな財産となりました。また臨床においても常に研究マインドを持って取り組んで参りたいと思います。

最後に、協力してくださった方々、研究の共同研究者、生化学教室にてお世話になった津田准教授をはじめとする先生方に心より感謝申し上げます。